

【科目名】 老年期理学療法学実習		【担当教員】 松林義人、PT 専攻教員 (メールアドレス) matsubayashi@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 水曜日以外の在室時							
【授業区分】 専門分野 (理学療法治療学)	【授業コード】 3-17-0670-0-2								
【開講時期】 3 年次 後期	【選択必修】 必修								
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ								
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 積極的に参加すること									
【講義概要】 (目的) 理学療法士が高齢者を対象とする機会が急増しているため、老年期の理学療法について充実させる必要がある。本科目では、座学による「老年期理学療法学」を基礎として、実際の場面での理学療法について学修していく。 (方法) 高齢者に対する理学療法 (特に転倒予防などの介護予防事業) について見学等を行う。学内で実習したことが実際にどのように行われているかを学修し、高齢者の理学療法についてイメージできるようにする。									
【一般教育目標(GIO)】 1. 高齢者の身体的・精神的特徴を理解する。 2. 高齢者への接し方や理学療法について理解する。 【行動目標(SBO)】 1. 高齢者に対して適切に接することができる。 2. 理学療法の立場から、高齢者に対する介入方法を理解することができる。									
【教科書・リザーブドブック】 特になし									
【参考書】 特になし (講義内で紹介します。)									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規程の GPA 制度に従う。 施設見学における態度や課題、グループディスカッションへの参加、レポート課題で総合的に判断する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		0	0	50	30	20	0	0	100 点
評価指	取り込む力・知識	0	0	30	10	10	0	0	50
	思考・推論・創造の力	0	0	20	10	10	0	0	40
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	10	0	0	0	10

平成 26～28 年度入学者用

標	ブ								
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1	オリエンテーション	講義		介護予防とは何かを調べておくこと。		30			
2	介護予防事業の取り組みについて	実習		介護予防事業の実際の取り組み方法について調べること。		30			
3	介護予防の実際 1 (見学)	実習		見学に関する注意点等を確認する。		30			
4	介護予防の実際 2 (見学)	実習		見学に関する注意点等を確認する。		30			
5	高齢者に対する理学療法について 1	実習		介護予防の見学に対して、課せられてレポートを作成する。		120			
6	高齢者に対する理学療法について 2	グループワーク		高齢者の特徴を理解し、理学療法を提案できるように調べること。		30			
7	高齢者に対する理学療法について 3	グループワーク		高齢者の特徴を理解し、理学療法を提案できるように調べること。		30			
8	まとめ	講義				30			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。